

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

感謝いたします! 1,200人で鑑賞
映画「降りてゆく生き方」・・・1P
リーダー研修・・・2P
協働ロードマップ 第1回協議の場・・・2P
「大人の学校」開講・・・2P

モーちゃんハウス始めました!!・・・3P
みんなの家ほっと3周年祭り・・・3P
愛知県職員NPO理解インターンシップ・・・3P
サポちたインフォメーション・・・4P

感謝! 1,200人の協力で映画「降りてゆく生き方」盛況

8月2日に半田市雁宿ホールで開催した、地域福祉サポートちた10周年記念映画会「降りてゆく生き方」に、午前午後あわせて約1200人の皆様のご参加をいただき、本当にありがとうございました。この映画は、主演の武田鉄也、荻谷俊介さんはじめTVでおなじみの俳優が出演しているにもかかわらず、メディア広報はほとんど行われず、一般映画館の上映もなし。現在の商業映画のあり方をはじめとした現代社会のあり方に疑問を持ったプロデューサーたちが、こだわりにこだわって創り出した映画です。午前の舞台あいさつ、午後でのてい談で十分そのあたりをお聞きいただけたと思います。

事後に、さまざまなご意見ご感想をいただきました。「美しい水田風景に感動した」「自然農法に前から関心があったがこの映画で出会えた」「主人公の価値観と行動の変化に共感した」「荻谷さんの縄文の話に深いものがあった」「腐敗と発酵の話が理解しやすかった」「酒づくりに関心を持った」「選挙の話はほんとうにあったこと?」「何度も出てきた白いご飯がほんとうにおいしいそうだった」など、個人の経験や考え方によってほんとうにさまざまな視点で観ていただけたこと、また誰もが語りたくなる映画であり、作品だけで完結しない、ずっと人のつながりが継続していく映画であると改めて確認した思いです。しかしながら「降りてゆく生き方とはどんな生き方?」と回答を欲しがる方もなかにはありました。

この映画は、問いです。答えは用意していませんと森田さん。答えは観た私たちが気づきを口にし、対話し、行



午後の映画後のてい談。左から起業支援ネット鈴木さんのコーディネートで、松下代表理事、俳優の荻谷俊介さん、森田プロデューサーがこれからの生き方を語った。

動に移す中から自分たち自身で見つけ出し、創り出していかなければならないのではないのでしょうか? 松下代表理事、荻谷さん、森田さんも「あと50年しかもたない地球環境」にあって、今私たちにできることは「多くの人と出会って対話を重ねること」と語りました。「大切だと思うことは、臆せず声にしていくこと」「立場や意見の異なる人との違いを楽しむこと」「相手の話を傾聴すること」が求められています。

地域福祉サポートちたもこれまでにつながった多くの人や団体に支えられて存在することを、この映画会を通じて実感させていただきました。感謝を込めて今後も、誰もが安心して地域で暮らしていける社会をめざし、「そだちあう」「であいをつくる」「きいて、こたえる、つなぐ」「しらべてつたえる」「おうえんする」の5本柱の事業を推進していきます。ご支援ご協力ありがとうございました。

(岡本)

みなさまのおかげで、NPO法人地域福祉サポートちたは、今年10周年を迎えます

生き方・住まい方 神奈川研修



8月11日[火]～12(水)に『これからの「住まい方」を考える』をテーマにしたリーダー研修が行われた。今回は神奈川県伊勢原市にあるNPO法人一期一会と藤沢市にあるNPO法人ぐ

る一ふ藤にて視察を行った。

今回の研修では、「グループリビング」という住まい方を核とした建物、施設について学んだ。この姿になるまでには、それぞれの団体の20年余りの地域活動があり、その活動の中から新しい住まい方の提案モデルが築かれていった。つまり、市民の力から生まれた住まい方である。また、そこが、われわれに勇気を与え、実現可能な方法を探る機会となった。

一人になっても、住み慣れたこの地域で最後までずーっと住み続けるためにどんな住まいがあればいいのか？「新しい時代の暮らし方」はもう待たないの問題だ。長年、地域生活の暮らしに関わり、NPOの現場から見てきた「生き方」「住まい方」について半島のリーダー達が議論し、ここ2、3年は、先進地の視察を重ねてきている。知多半島にその「モデルを創りたい！建てたい！」想いが少しずつ形になり始めている。(松下)

NPO法人一期一会の「風の丘」は、“信頼できる人間関係の中で、最後まで住みたい地域で住めるようにしたい”と願う利用者さんが、NPO法人に自分の土地を寄付し、建設費を地域住民から募って建てたという経緯を持つ。「ぐる一ふ藤」には1階は地域に開かれたレストラン・小規模多機能施設・総合相談室、2階は精神障がい者のグループホームと看護・介護ステーションがある。そして、3・4階は終の棲家となる福祉マンションがある。これらの建設費5億円の内約1億円を市民ファンドで集めた。

2つに共通している事は、理事長が60歳前後の女性である事、自分達の思いを実現するために市民ファンドを集めている事、時間をかけた勉強会の中で「市民力」を鍛えている事だ。今回の研修では、元気をいただき学ぶことの多い研修となった。(村上)

両施設ともに、市民グループ活動の熱い思いがひしひしと伝わってくる所だった。「いつまでも自分らしく暮らしたい」「歳をとっても病気になっても障がい

あっても、安心して暮らせる町を創りたい」とそれぞれの地道な活動を続けてきたからこそ、実現できたのだと思う。建設、運営資金の過半をグループメンバーや住民からの借入金で調達してきたその「人」のネットワークには、目を見張るものがあった。「知り合いの数と幸福度は比例する」と言われた風の丘の川上理事長のお言葉やぐる一ふ藤の鷲尾理事長のお話から、色々な分野に渡り、出会った人のつながりを1つ1つ大切に「希望を実現させる」という熱い思いを持ち続けることが、大きな力になるという事を学んだ。(下村)

地域の交流の場づくりを協働で考える



8月18日(火)、愛知県委託事業「協働ロードマップ第1回協議の場」が開催された。

協働ロードマップとは、県政の特定分野の課題を解決するために作られる、行政や

NPOなどの協働行程書のことだ。

協議の場には、知多半島でサロンや居場所づくりを行っているNPOの代表や社会福祉協議会、行政担当者が参加した。今回のテーマ「要介護状態にない高齢者が利用できる地域の交流の場づくり」について意見を出し合い、行政やNPO、コミュニティが直面する課題や現状を共有した。完成は今年度末。それぞれの現場での経験を活かしたロードマップを描きたい。(磯野)

団塊世代が学ぶ「大人の学校」3年目

6月28日(日)、大人の学校の開校式が知多市市民活動センターにて行われた。大人の学校では、団塊の世代の方がこれまでの人生を振り返り、その中で培ってきた能力や技術



を活かし、セカンドライフを見つめていく。今年で3年目の最後の年となり、今までより多くの方の方が参加した。これから、各グループに分かれ「学ぶ・調べる・体験する」をキーワードに活動していく。(後藤)

モーちゃんハウス始まりました！！

7月20日(月)、NPO法人もやいではモーちゃんハウスがオープンした。モーちゃんハウスは元々、牛小屋であった所を改装し、主に子どもの活動場所として作られた。中には蚊帳が吊れる金具が付けられており、夏には蚊帳を吊ってお泊りすることもできる。オープン日には、デイサービスを利用されている高齢者や近所に住む親子連れの方など幅広い世代の方々



約100名が訪れた。訪れた方々には、流しそうめんや稲荷寿司、みたらし団子などが振舞われた。子どもたちの中には竹を使った流しそうめんを初めて体験する子どもが多く、流しそうめんに夢中であった。また、マジックショーも行われ、会場は驚きと笑いに包まれた。

もやいでは、昔の文化や伝統を、おじいちゃん世代から孫世代へと受け継いでいける様取り組んでいる。今後の活動にますます期待が高まる。(後藤)

みんなの家ほっと3周年祭り

8月28日(金)、NPO法人ほっとのみんなの家ほっとにて3周年祭りが行われた。ほっとは今年、3周年を迎えると共に、げんきッズ(学童)が開所した。



日頃、お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを込めて今回のお祭りが行われた。当日は、地域の方々をはじめ、阿久比町長、社会福祉協議会、町内会の役員の方など300名近くが訪れた。わたがし・カキ氷・お団子、焼きそばなどが振舞われ、近所の方が焼きそば作りを手伝ってくれるなど、地域密着NPOの様子がみられた。ほっとが地域の子どもからお年寄りまで、多くの方々に親しまれ、愛されているのが感じられるお祭りとなった。

このお祭りには、日本福祉大学のサービスマーケティングの学生が、準備から当日までスタッフの方々の指導の下に関わっていた。地域の中でNPOがどのように活動しているか、また、NPOが地域の方に支えられている現場を学生が自身の目で見れたのではないかと。お祭りが終わった学生の顔には、達成感と充実感が溢れていた。(後藤)

愛知県職員NPO理解インターンシップ

犬塚 淳一さん(一宮建設事務所)

7月16日～7月24日

サボちたのみなさん、現場体験で出会った他のNPOの方々、半島市町の職員の方々など、研修期間中たくさんの方と出会い、お話を聞くチャンスに恵まれました。



NPOと行政の役割、これからの公共のあり方を考えるきっかけとなりました。また、NPOの原点は人のつながりを大切にしたいのかなと感じました。まだまだ最初の一步という感じですが…それぞれの目標に向かって日々頑張っているみなさんの姿を見て、私も県職員として1日1日を大切に頑張っていかなきゃと、気持ちをあらたにすることができました。6日間という短い間でしたが、楽しくそして貴重な時間となりました。

上運天 陽次さん(愛水事務所)

7月29日～8月5日

研修を終えて印象的だった点が2つあります。1つ目は1日だけ現場体験でお世話になった「ゆいの会」。利用者の笑顔やおしゃべり、そして1人暮らしの方が多いという現状を知ると、このようなサロンが必要なのかなと感じました。



2つ目は、松下代表を始めとしてスタッフの皆さんが生き生きと活動なさっていた姿です。使命感と誇りをもっているのだなと感じました。

今回の研修で福祉NPOのほんのさわりだけかもしれませんが、理解できました。

～ Ada-coda からのお知らせ ～

ワンデイ・シェフ随時募集しています。興味のある方、一度ご連絡ください。担当:市野

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

日本初、愛知発。

ファンレイジングイベント

愛フェス2009

日本初の大規模ファンレイジングイベント「愛フェス2009」。市民3万人が集い、地元アーティストによるライブ、全国福祉作業所から集まった障がい者運営のフードショップ、地域のNPOや大学が出展するNPO村、大学村が出展します。NPO法人だいこんの花・NPO法人ゆめじろう・NPO法人もやいとサポートちたも出展します。

ライブには、nobodyknows+、カルテット、40BUCKS、などなどのアーティストが出演、地域イベントから勝ち上がったダンス・音楽のファイナルコンテストが行われるなど、他にもイベントが盛りだくさんです。ぜひ、アツい夏に皆さんと一緒に盛り上がりましょう！！

開催日：2009年9月5日(土)・6(日)

10:00～20:00

会場：愛・地球博記念公園(モリコロパーク)

お問い合わせ先

愛フェス2009実行委員会(主催)

TEL:0566-98-5352 FAX:0566-98-5565

公式HP:<http://ifes.jp>

映画「降いてゆく生き方」

いいたい放題会を開催します!!

<日時> 9月20日(日)14:00から

<場所> 知多市市民活動センター交流室

映画を見た人も残念ながら見られなかった人も、この映画が発している問い「今後、私たちはいかに生きるべきか?」にかかわる、なんでも言い合える場にぜひおいでください!

ホームヘルパー2級養成講座

<講座日程> 10月21日～1月14日

<時間> 9:30～16:30

<会場> 講義:知多市市民活動センター

<募集人数> 40名(先着順)

<受講料> 65,000円

介護福祉士対策講座

<日程> 筆記対策:10月4日～12月19日

実技対策:2月27日～3月6日

筆記合格者対象に実技試験は上記日程で行う。

<時間> 9:30～16:30

<会場> 講義:知多市市民活動センター

<募集人数> 40名(先着順)

<受講料> 筆記対策講座 40,000円

(資料代、模擬試験代込み)

実技対策講座 10,000円(1日)

すっきりわかる

ボランティア・NPO 入門講座

NPO やボランティアに興味がある方、何か始めたいと思っている方、NPO がすっきりわかる講座を開講します!!

<日程> 8月26日(水)～12月12日(土)

<会場> 知多市市民活動センター 会議室2

<募集人数> 25名(先着順)

<受講料> 1回 300円

☆耳より情報☆

サポートちたでは、マイクセット・プロジェクター・ビデオの貸し出しができます!!各1日 1,000円で貸し出していますので、お気軽にお尋ねください。

NPO現場見学バスツアー

9月15日(火) 9:30～16:30 定員8人

10月22日(木) 9:30～16:30 定員26人

参加費 5,000円(昼食代別途)

第8期マネジメントセミナー

■成熟した市民社会を目指した新たな展開■

9月18日(金) 13:30～15:30

「ニーズに応えた活動の展開」



特定非営利活動法人

地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743

Email spchita@ams.odn.ne.jp

URL <http://www.cfsc.npo-jp.net>